



第26回新株予約権発行に関する補足説明資料

株式会社gumi（証券コード 3903） | 2025年10月2日

目次

■ エグゼクティブサマリー	p.2
■ ブロックチェーン等事業の成長戦略	p.7
■ Appendix	p.15

■ エグゼクティブサマリー

エグゼクティブサマリー（モバイルオンラインゲーム事業）

『ジョジョの奇妙な冒険 オラオラオーバードライブ』（オラドラ）

9月25日リリース後1週間、1日平均約1億円の売上を記録

今期の業績に貢献

2026年4月期（今期）



リストラクチャリングによるコスト構造の改善に加え、
『オラドラ』の大ヒットにより業績向上に向けた
収益基盤の構築が完了

2027年4月期～（来期以降）

有力IP

×

自社ゲームエンジン

来期以降、『オラドラ』の収益の通期寄与に加え、
『オラドラ』に続くIPタイトルを年1-2本の
ペースで投入を予定

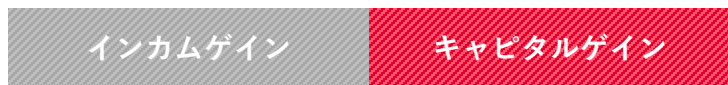
継続的に利益を創出する体制を構築

エグゼクティブサマリー（ブロックチェーン等事業）

金融領域における保有資産が順調に拡大し、収益の中核事業として成長

（Q1末の暗号資産残高は約230億円。決議済みのXRP25億円等も含め、**今後も暗号資産を取得する方針**）^(※1)

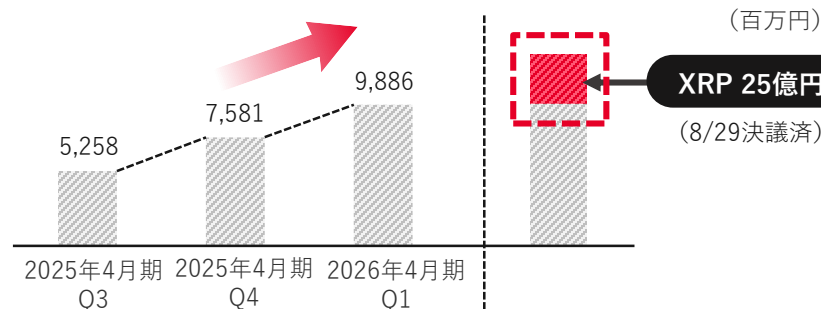
ブロックチェーン等事業の基本戦略^(※2)



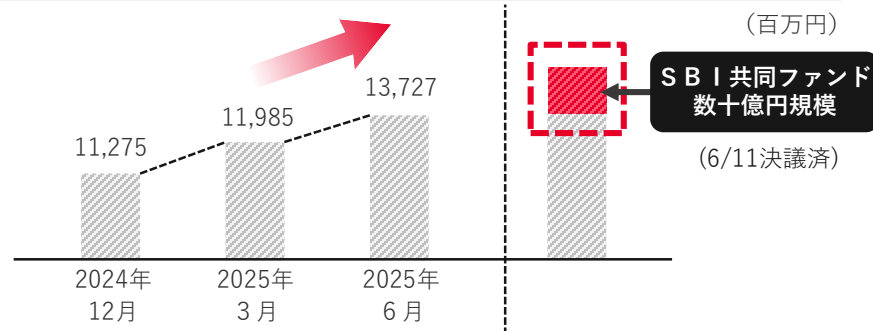
保有資産の活用により
継続的に受領できる収益
(ステーキング報酬等)

暗号資産の価格上昇
による収益

gumiグループが保有する暗号資産の残高推移^(※3)



gumiが運用するファンドにて保有する暗号資産の残高推移



本領域に更なる資金及びリソースを集中投下することが企業価値向上に繋がると判断し、今回の資金調達を決定

^(※1) gumiグループが保有する暗号資産の残高約98億円（2026年4月期Q1）とgumiが運用するファンドにて保有する暗号資産の残高約137億円（2025年6月）を合算した数値

^(※2) 本グラフは基本戦略として目指す売上高の推移をイメージで示すものであり、実際の売上高の推移又はその見込みを示すものではありません

^(※3) 上段は2026年4月期Q1の残高に、8月29日に決議したXRP25億円の数値を合算して記載しております

下段は2025年6月時点の残高に、2025年6月11日に決議したSBIとの暗号資産ファンドの数値を合算して記載しております

エグゼクティブサマリー（本資金調達について）

早期に時価総額1,000億円達成を目指す

調達金額は、実質的に**その全額を成長領域であるブロックチェーン等事業に集中投下**

発行総額	約57億円
最大発行株数	1,070万株（発行株式総数の21.60%）
行使期間	2年間（2025年10月21日～2027年10月20日）
割当先	株式会社SBI証券
資金使途	① 財務基盤強化と機動的な投資余力の確保を目的とした借入金返済 （当該借入金はXRP取得資金として既に一部活用済み） ② BTC/XRPの取得による成長力強化 ③ その他暗号資産領域を中心とした投資

gumi 事業方針	安定	モバイルオンラインゲーム事業	主要収益源としての安定運営
	成長	ブロックチェーン等事業	BTC/XRPの取得による収益拡大
	革新	ネオメディア事業（新規事業）	SBIとの連携による新たな成長エンジン

資金投下対象

エグゼクティブサマリー（成長投資に向けた資金使途）

約57億円を成長領域であるブロックチェーン等事業に集中投下

① 財務基盤強化と機動的な投資余力の確保を目的とした借入金返済

約30億円

目的 先行して取得したXRP購入資金を借入で充当しており、本調達資金により借入を返済

効果 財務基盤の安定化

(※2)

② BTC/XRPの取得による成長力強化

約20億円

目的 BTC/XRPの追加取得

効果 インカムゲイン（年率5～10%程度のステーキング及び運用収益^(※1)）
+ キャピタルゲイン（暗号資産の価格上昇）による収益力強化

(※2)

③ その他暗号資産領域を中心とした投資

約7億円

目的 暗号資産運用ファンド、ブロックチェーン関連企業、及びAI領域への投資

効果 ① 暗号資産領域 — ファンドへの投資を積極化することでさらなる収益力を強化
② AI領域 — 次世代の収益源の確立

(※1) 5～10%は一定の前提を置いたうえで当社が試算した年率であり、この年率が実現することを確約するものではなく、また将来にわたりこの年率が実現することを示すものではありません

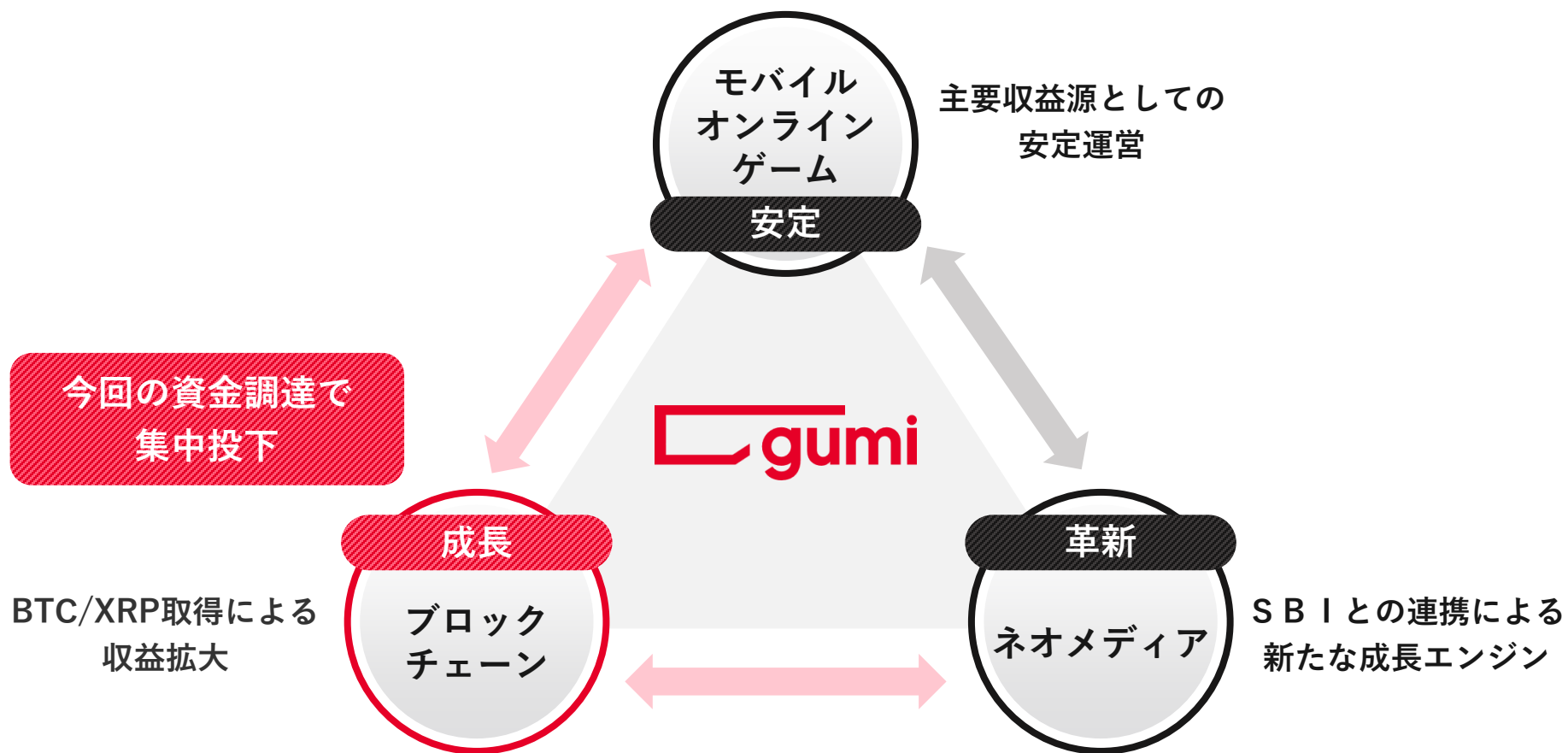
(※2) 実際の資金調達額が発行時における当初の予定金額を上回った場合は、上記②、③に追加で充当する予定です

■ ブロックチェーン等事業の成長戦略

成長領域への集中投下（ブロックチェーン等事業）

【安定】 × 【成長】 × 【革新】

三本柱の連動により、収益性と成長性を確立



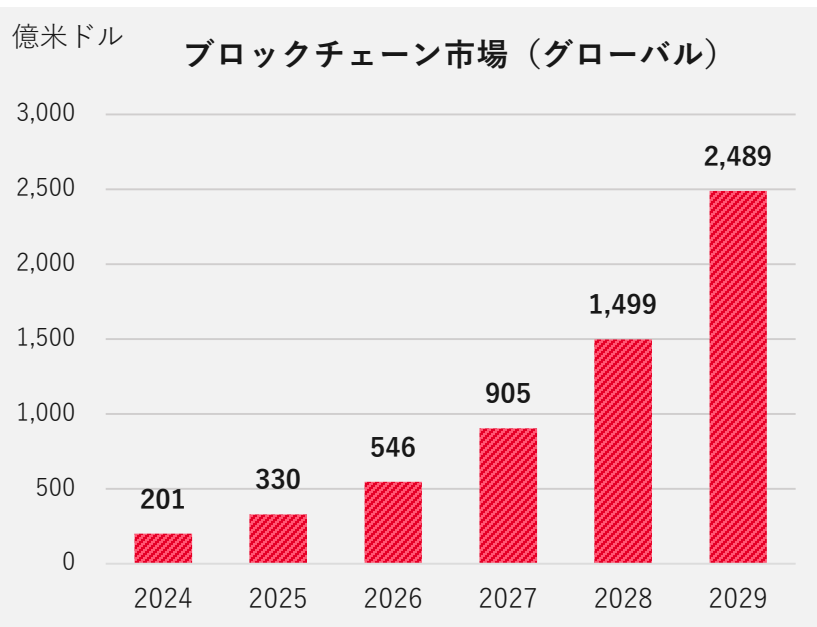
なぜ、ブロックチェーンに集中投下するのか

gumiがブロックチェーン等事業に注力する理由：

gumiの強みを最も発揮できるのがブロックチェーン領域

成長市場

ブロックチェーン市場は2029年には2,489億米ドル
(約36兆円)の巨大市場に成長すると予測^(※)



(※)株式会社グローバルインフォメーション、
MarketsandMarketsの公表データを元に当社にて加工

gumiの得意領域

▼ gumiの実績

ブロックチェーン領域において、ゲーム制作、
トークン経済圏の構築等を行ってきたが、
金融領域（ノード運営・アセットマネジメント）
においては確かな実績を蓄積

▼ TIS、SBIと協業

金融領域における実績を通じて、
① **TISとは合併会社を設立**し、ノード運営を更に拡大
② **SBIとは上場暗号資産ファンドを組成**
(数十億円規模にて2025年中に組成予定)

▼ 結論

ブロックチェーン等事業への投資が、
企業価値向上に直結する最重要成長領域と位置づけ

巨大市場 × gumiの強み



成長ドライバー

資金使途①財務基盤強化と機動的な投資余力の確保を目的とした借入金返済

短期借入金の返済による財務基盤強化＋成長領域への投資を加速

- 短期借入金30億円を返済し、**財務健全性を強化**
- 先行して取得したXRP購入資金を借入で充当しており、実質的に成長領域への投資資金として活用

2025年9月末における当社グループの借入残高

2025年9月末残高	
市中銀行	37.7 億円
S B I 証券	30.0 億円
合計	67.7 億円

返済 → 実質**XRP投資**

資金使途②BTC/XRPの取得による成長力強化（BTC戦略の詳細）

BTCを「保有資産」ではなく、「事業資産」として活用



収益の仕組み

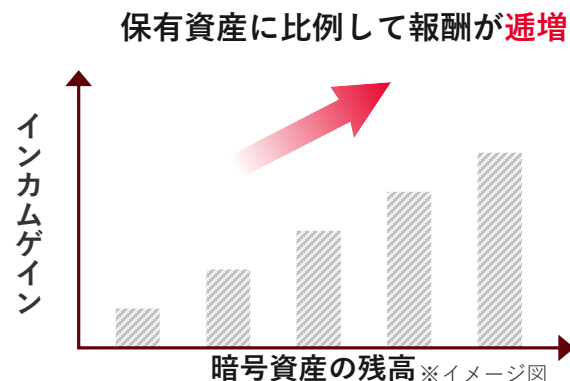
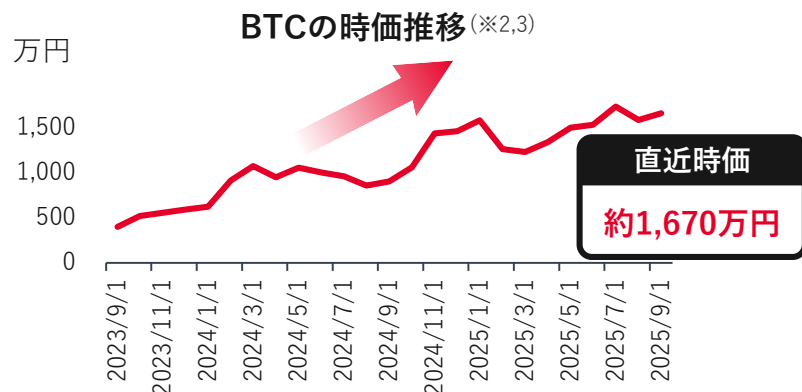
- ステーキング報酬等によるインカムゲイン（安定収益）
- 価格上昇によるアップサイドの獲得（キャピタルゲイン）

値上がり益の実績

- 機関投資家の参入拡大などが背景
- 発行上限2,100万BTCで希少性が確保
- BTCは直近2年で約4倍強に成長※1)

収益モデル × 成長ドライバー

- 暗号資産残高に比例して、インカムゲインが増加
- 年率 5～10%程度の安定収益＋価格上昇益 ※1)
- 将来的には「担保」として活用する可能性も検討



BTCを普遍的資産として“運用”し、「安定収益」と「価格上昇」の両軸にて収益拡大を図る

※1) 5～10%は一定の前提を置いたうえで当社が試算した年率であり、この年率が実現することを確認するものではなく、また将来にわたりこの年率が実現することを示すものではありません

※2) 直近2年は2023年9月～2025年8月を指します

※3) CoinMarketCapより抜粋したデータを元に当社にて加工

資金使途②BTC/XRPの取得による成長力強化（XRP戦略の詳細）

S B I との連携も視野に入れつつ、戦略的にXRPを保有



XRPを戦略資産として位置付ける背景

▼ 時価総額 No.3

BTC・ETHに次ぐ主要暗号資産

▼ 国際送金インフラ

RippleNetを通じ、金融機関で利活用

▼ S B I グループの推進力

国内外での普及を強力に推進

▼ 制度進展

米国でXRP現物ETFの申請が進行中/
米ドル連動ステーブルコイン「RLUSD」正式運用開始

➡ 投機ではなく、制度進展と実需に裏付けられた資産

gumiの収益機会と将来の可能性(※)

▼ ステーキングやレンディングによる運用

保有するXRPを積極運用し、安定的なインカムゲインを創出

▼ ETFを見据えたXRPの運用

XRP現物ETFの承認をにらみ、安定収益モデルを確立

▼ グローバルユーザー間取引における活用

国際送金や決済分野でXRPを媒介とする取引機会の拡大

▼ 新規事業の創出

S B I と連携した金融・メディア・デジタルアセット分野での新しい収益源の創出

XRPを戦略資産として保有し、S B I との連携等を通じて将来の更なる収益機会も創出

資金使途③その他暗号資産領域を中心とした投資

暗号資産領域のみならず、成長市場であるAI領域にも積極的に投資を実行

暗号資産ファンドへのLP出資

目的 収益基盤の強化

- gumi Cryptos、DECIMAの次なるファンドを組成する際のLP出資を検討
- SBIとの共同ファンドの組成に際してLP出資を検討

gumi Cryptos	ファンド規模	131M USD（1号2号合計）
	ステータス	1号は回収、2号は投資フェーズ 1号の投資倍率8.0倍
DECIMA*	ファンド規模	40M USD
	ステータス	投資フェーズ
SBI共同ファンド	ファンド規模	数十億円規模
	ステータス	2025年中に組成予定

暗号資産領域の企業等への出資

目的 事業シナジーの創出

- 国内外の有力プロジェクト・企業への投資
- 将来的な協業を見据えた出資

AI企業への出資

目的 新規事業の創出

- gumi AI Labsから引き続き、米国シリコンバレーを中心にAIスタートアップ企業へ出資

発行形態	第三者割当方式
割当予定先	株式会社ＳＢＩ証券
発行される株式の総数	10,700,000株
希薄化率	21.60%（2025年10月2日時点発行済株式総数49,527,234株に基づく）
発行決議日	2025年10月2日
割当日	2025年10月20日
行使可能期間	2025年10月21日～2027年10月20日
差引手取概算額	約57億円 ※株価変動によって、調達金額が増減する可能性があります
当初行使価格	532円（発行決議前日終値の100%）※その後、行使価格は修正されます。以下参照
下限行使価格	319円（発行決議前日終値の60%）
行使価格の修正	各営業日終値×92%を基準に、直前の行使価格との差が1円以上の場合に修正
当社からの取得請求	取締役会決議により、割当日の翌日以降、本新株予約権1個あたりの払込金額と同額で、本新株予約権者の保有する新株予約権の全部または一部を取得できる
割当先からの取得請求	当社への通知により、新株予約権の取得請求ができ、当社は残存する新株予約権の払込金額と同額を支払い、当該新株予約権を取得する
譲渡制限	本新株予約権の譲渡については、発行会社の取締役会の承認を要する

Appendix

『ジョジョの奇妙な冒険 オラオラオーバードライブ』が大ヒット

9月25日リリース後1週間、**1日平均約1億円の売上を記録**

事業の再構築

- 2024年Q1以降、事業のスリム化を断行し、**開発・運用の精鋭チーム体制に移行**
- その結果、従業員は2024年Q1の660人から2025年Q1には371人と約半減（289人減少）



gumiのIP戦略

- 「有力IP×自社ノウハウ」戦略により、開発コストを大幅に削減し、**ヒット確度を高める施策を実行**



大ヒットを実現



今後も、『ジョジョの奇妙な冒険 オラオラオーバードライブ』に続くIPタイトルを

年1-2本のペースでリリースし、**ヒットタイトルの創出を目指す**

“IPを流通させるSBI” × “IPを育てるgumi”で、
グローバル市場を視野に入れた次世代メディア戦略を共創

SBIの構想

ネオメディア戦略

- 1,000億円ファンドによるIP取得推進
- 今後立ち上がるメディアプラットフォームでのIP活用

gumiの強み

- ゲーム・アニメ・音楽等のエンタメコンテンツの展開力
- 国内/海外の著作権元との強固なネットワーク
- これまでの投資実績に基づく様々なIPへの知見/目利き

SBI × gumi の戦略的シナジー

① アニメ・漫画・ ゲーム

- 著作権元との連携強化による
既存IPの更なる獲得及び新規IPの創出

② 音楽・芸能

- アーティストやインフルエンサーとの
連携による新たなサービスの創出

③ スポーツ その他

- リアルな体験を軸としたオフラインに
おけるエンターテインメントサービスの提供

プロジェクトチームを組成し、
SBIグループと連携を開始

(参考) 四半期業績推移

- モバイルオンラインゲーム事業は、リストラクチャリングによるコスト構造の改善に加え、『オラドラ』の大ヒットにより業績向上に向けた収益基盤の構築が完了
- ブロックチェーン等事業は、本資金調達も含め更なる成長を目指す
- ネオメディア事業は、2026年から新規事業として開始予定（現在プロジェクトチームを組成済み）

(単位：百万円)

		2025年4月期				2026年4月期	
		Q1	Q2	Q3	Q4	通期	Q1
売上高		2,848	2,645	1,911	1,537	8,942	1,354
営業利益		65	114	119	71	370	72
経常利益		262	728	76	1,036	2,103	1,234
親会社株主に帰属する 四半期純利益		△167	767	905	557	2,063	1,247
モバイル オンラインゲーム事業	売上高	2,280	1,972	1,340	860	6,454	763
	営業利益	5	31	△39	△116	△118	△93
ブロックチェーン等事業	売上高	567	673	570	676	2,488	590
	営業利益	59	83	159	187	489	165
ネオメディア事業	—	-	-	-	-	-	-

(※)ネオメディア事業は今後立ち上げていく新規事業になることから、現状、業績はございません

免責事項

本資料は、株式会社gumi（以下「当社」といいます。）並びにその子会社及び関連会社（以下、当社と併せて「当社グループ」と総称します。）の財務情報、経営情報等の提供を目的としたものです。

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものです。さらに、こうした記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は環境の変化などにより、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。

本資料に記載されている当社グループ以外の企業等に関わる情報及び当社グループ以外の第三者の作成に係る情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、係る情報の正確性、完全性及び適切性等について何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。

本資料の計画、予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その実現・達成を保証、約束するものではなく、また、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に含まれる全ての情報は、予告なしに変更される場合があります。

本資料は、当社グループに関する情報の開示のみを目的として作成したものであり、当社の有価証券の取得に係る投資勧誘を目的としたものではなく、当社の有価証券への投資判断にあたって必要な全ての情報が含まれているわけではありません。当社の有価証券への投資判断は、ご自身の判断で行うようお願いいたします。

なお、資金調達についての詳細は2025年10月2日付当社プレスリリース「第26回新株予約権（行使価額修正条項付）の第三者割当による発行に関するお知らせ」を参照ください。

Wow the World! **gumi**